

## 日本医療機能評価機構の受審を終えて

### - 検査科の取り組みと評価 -

前田 富士子 鈴木 綾子 堀田 真希 野口 みづほ  
(医療法人ガラシア会 ガラシア病院 検査科)

【はじめに】当院の診療科は内科、リウマチ科、外科、整形外科、眼科、リハビリ科、麻酔科、精神科であり、一般病棟2棟・療養病棟1棟の138床を有する。臨床検査技師は3.3名であり、院内検査として血液・生化学・一般・輸血・緊急感染症・生理検査を行い、微生物・病理・免疫などは委託検査である。昨年9月に医療機能評価（V4.0）を受審し、2004年1月に認定を受けた。病院の総力を結集した受審であったが、今回は検査科としての取り組みを振り返り評価を行った。

【取り組み】関わった項目（患者の安全確保のための体制、院内感染管理、臨床検査部門、病理診断部門、輸血血液部門）受審までの経時的流れ（2002年2月医療機能評価受審の決定、5月第1回準備委員会開催、8月担当委員の自己評価調査表提出、12月各部門長の自己評価調査表 - 小項目について現状把握・改善計画表の提出、2003年3月各部門のマニュアル整備状況表の提出、7月訪問受審予行の実施、9月訪問受審）実施事項（各検査マニュアルの作成、委託検査資料のまとめ、各委員会議

事録の確認、各機器の保守点検表の作成、データの保管と処理、不要物品の整理と除却、理念・方針・倫理綱領の理解と掲示、年度目標提示、検査科内案内図の作成、管理ファイルのリスト作成、大掃除）考察・改善点（非常口の確保、微生物データの把握と分析、輸血副作用の把握）

【評価】検査科内、看護、医師、その他の部門とのチームワークが良くなった。理念、方針の掲示により倫理観が浸透した。精度管理が充実した。保守点検を積極的に行うようになった。感染対策の徹底ができた医療安全対策の取り組みに積極的になった。コスト意識が身についた。

【今後の課題】今後検査科が取り組めるものは多方面にある（検査説明、超音波検査、健診業務、褥創委員会・パス委員会・NSTへの参加など）。今回の受審で得られたチームワークを糧に取り組みでいきたい。

【連絡先】(Tel) 072-729-2345 (Fax) 072-729-7023  
(E-mail) kensa@gratia.or.jp